

国肥料価格高騰対策事業 申請書類の記入例集

令和4年12月16日修正版

1 参加農業者

実施要領参考様式第2号 化学肥料低減計画書	P 1
協議会長が別に定める様式第1号 化学肥料低減計画書 添付書類整理表	P 2・3
協議会長が別に定める様式第1-1号 申請肥料一覧表	P 4～6
協議会長が別に定める様式第2号 国肥料高騰対策事業申請時チェックシート	P 7・8
協議会長が別に定める様式第3号 取組メニューの強化・拡大計画書	P 9
協議会長が別に定める様式第4号 肥料価格高騰対策事業に係る振込口座について	P 10
実施要領参考様式第6号 化学肥料低減実施報告書	P 11
協議会長が別に定める様式第6号 取組実績整理表	P 12・13

2 取組実施者

業務方法書様式第1号 事業取組計画書の承認申請書	P 14
業務方法書様式第1号別添 肥料価格高騰対策事業取組計画書	P 15
実施要領参考様式第1-2号 肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿	P 16
協議会長が別に定める様式第5号 国肥料高騰対策事業支援予定金額算定整理表	P 17
業務方法書様式第6号 令和4年度肥料価格高騰対策事業取組中間報告書	P 18
業務方法書様式第5号別添 肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告書	P 19・20
実施要領参考様式第5-2号 肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿	P 21

化学肥料低減計画書

記入例

作付概要

作物名	作付面積 (ha)
水稲	1.8
その他	0.1
計	1.9

秋肥、春肥それぞれ作成してください

秋用肥料	春用肥料	年間
	<input checked="" type="radio"/>	

該当するものに○を付けること

氏名(法人・組織名) 肥料 太郎

住所 ○○市○○町○○番地の1

電話番号 ××××-××-××××

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		

私は、本事業を申請するにあたり、以下のことを、確約します。

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

虚偽の申請及び取組メニューを実施していなかった場合は、支援金を返還します。

※返還にあたっては、支援金の返還に要する費用も含めます。

★チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 肥料 太郎

※自署でない場合は、押印のこと

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

(協議会長が別に定める様式 第1号)

化学肥料低減計画書 添付書類整理表

記入例

氏名(法人・組織名) 肥料 太郎

住所 〇〇市〇〇町〇〇番地の1

電話番号 ××××-××××-××××

秋用肥料	春用肥料	年間
	○	

注: 秋用肥料、春用肥料のどちらかに○印を記入

化学肥料低減計画書に添付する書類の1枚目にこの資料をつけ、ホッチキスで添付した資料は返却できませんので、御留意ください。

添付資料等	添付していれば○印を記入
申請肥料一覧表(協議会長が別に定める様式第1-1号)	○
低減計画書申請用チェックシート(協議会長が別に定める様式 第2号)	○
取組メニューの強化・拡大計画書(協議会長が別に定める様式 第3号) ※化学肥料低減計画取組メニューに◎がある方のみ	○
購入した肥料の注文書の写し(当用買の場合は不要)	○
肥料購入金額がわかる資料(肥料名、購入数量、金額がわかる資料)の写し	○
取組を行う品目を出荷・販売したことを証明する出荷・販売伝票の写し(1枚で可)	○
協議会長が別に定める様式第4号及び振込口座を確認できる資料(通帳の写し)	○
化学肥料の低減に相当程度の実績がある場合の添付資料	

裏面あり

取組実施者名(申請書の申請先)が複数ある方は、すべてを記入してください。

記入例

取組実施者名①

J A山口県〇〇〇生産部会

取組実施者名②

〇〇商店(〇〇グループ)

取組実施者名③

取組実施者名④

国 肥料高騰対策事業 申請時チェックシート

チェックシートで確認チェック後、低減計画書に添付し、取組実施者（肥料購入先等）に提出してください。

申請者名（自署）	肥料 太郎
----------	-------

※自署でない場合は、押印のこと

区分	秋肥用		春肥用	○	チェック
----	-----	--	-----	---	------

申請書

1	申請書の提出先（取組実施者）は一つのみである。	<input type="checkbox"/>	ど ち ら か に
	申請書の提出先（取組実施者）が複数あるが、申請した肥料は重複していない。	<input checked="" type="checkbox"/>	
2	秋用肥料、春用肥料の欄に○印を記入している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
3	作付概要の記入欄に作物名、面積を記入している。 複数品目の作付けがある場合は、経営主品目を2つ記入している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
4	氏名、住所、電話番号に間違いがない 氏名は、支援金の受取者と同一である（通帳口座名 等）	<input checked="" type="checkbox"/>	
5	「前年度までの取組」がある場合は、取組メニューに○を記入している	<input checked="" type="checkbox"/>	
6	「令和4年度または5年度の取組」を2つ選んでいる。 そのうち一つは新たな取組となっている。 従来の取組の強化・拡大の内容に◎を記入している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
7	誓約内容のチェック及び氏名（自署）を記入している。	<input checked="" type="checkbox"/>	

添付書類

8	【添付書類：購入肥料を証明する資料】共通 添付した肥料の注文書及び領収書等には肥料名、数量、金額が記載されている。また、支援対象なのか確認し整理している。	<input checked="" type="checkbox"/>
9	【添付書類：購入肥料を証明する資料の確認】 秋用肥料は下記の内容のものである 令和4年6月から10月に発注し購入した肥料の注文書及び領収書等を添付している（当用買の場合は注文書不要）	<input type="checkbox"/>

9	春用肥料は下記の内容のものである 令和4年11月から令和5年5月に発注し購入した肥料の注文書及び領収書等を添付している（当用買の場合は注文書不要）	<input checked="" type="checkbox"/>
10	取組メニューを実施する農産物を販売していることを証明する書類（販売先が発行した仕切書など）を添付している	<input checked="" type="checkbox"/>
振込先		
11	添付書類の通帳の写しと同じ口座の情報を「振込先」に記入している。	<input checked="" type="checkbox"/>
確認事項		
12	申請する肥料は、自ら使用する肥料であり、対象期間中の作付けに必要な数量のみである。	<input checked="" type="checkbox"/>
13	取組実施者が対策事業を円滑に実施するため指示する内容を遵守します。また、計画書、実績報告書及びその他の提出書類について、必要に応じて関係機関で共有することを承諾します。	<input checked="" type="checkbox"/>
14	本事業に係る報告や立ち入り調査について、事業実施主体等から協力を求められた場合は応じます。	<input checked="" type="checkbox"/>
15	取組を実施したことが確認できる書類等の証拠書類について、支援金の交付を受けた年度の翌年度から5年間保管し、事業実施主体等から求められた場合は提出します。	<input checked="" type="checkbox"/>
16	支援金の振込み手数料は申請農業者負担であることを理解している。	<input checked="" type="checkbox"/>
17	個人情報の取扱いについて承諾する。	<input checked="" type="checkbox"/>

※チェック項目「□」に✓を記載。すべてのチェック済んだ上で、申請書へ添付。

【国 肥料高騰対策事業に係る個人情報の取扱いについて】

各地域農業再生協議会及び山口県地域農業戦略推進協議会及び山口県は、肥料価格高騰対策事業の実施に際して得た個人情報について、「個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)」及び関係法令に基づき、適正に管理し、本事業の実施のために利用します。

また、当該個人情報について、本事業の実施及び国等への報告等で利用するために、関係機関に必要最小限度内において提供します。

なお、提供情報に基づき、関係機関が確認等のため連絡を行う場合があります。

取組メニューの強化・拡大計画書(記入例)

秋用肥料	春用肥料	年間

注: 該当するものに○を付けること

氏名(法人・組織名)


化学肥料低減計画書の「令和4年度又は令和5年度取組」に「◎」を記入した場合は、どのような強化・拡大を計画するか記載してください。
※化学肥料低減計画書に記載しても良い

取組メニュー名	令和4年度又は令和5年度取組で強化・拡大する具体的な内容
ア 土壌診断による施肥設計	○土壌分析点数の増加 (施肥設計が違う品種や土質が違うほ場の追加 など) ○土壌分析項目の追加 ○土壌分析診断結果に基づく施肥実施面積の増加
イ 生育診断による施肥設計	○生育診断回数の増加 ○生育診断を実施する品種やほ場の追加
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入	○低投入型施肥設計により施肥した面積の増加 ○NPK総量がより低い施肥設計による施肥の実施
エ 堆肥の利用	○堆肥を利用する面積の増加 ○現行の施肥設計より堆肥の利用割合の増加
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)	○汚泥肥料を利用する面積の増加 ○現行の施肥設計より汚泥肥料の利用割合の増加
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)	○食品残渣などの国内資源の利用面積の増加 ○現行の施肥設計より食品残渣などの国内資源の利用割合の増加
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用	○有機質肥料利用面積の増加 ○現行の施肥設計より有機質肥料の利用割合の増加
ク 緑肥作物の利用	○緑肥作物の利用面積の増加
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用	○肥料施用量の少ない品種の作付面積の増加
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用	○低成分肥料を施用する面積の増加 ○現行のNPK総量よりさらに低い低成分肥料の利用
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)	○可変施肥機を利用し、施肥した面積の増加
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用	○局所施肥を実施する面積の増加
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用	○育苗箱(ポット苗)施肥を実施した苗の作付面積の増加
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)	○ア～スに係るものを除く施肥量・肥料銘柄の見直しにより施肥する面積の増加
ソ 地域特認技術の利用()	-

記入例

令和 ○年 ○月 ○日

〇〇商店 (〇〇グループ) 代表者 様


 申請する取組実施者名を記入

住所 〇〇市〇〇町〇〇番地の1

氏名 肥料 太郎


業に係る振込口座について

肥料価格高騰対策事業に係る振込口座を下記のとおり提出します。

記

支援金の振込口座

金融機関 (ゆうちょ銀行以外)														
金融機関コード (数字4桁)				金融機関名										
1	2	3	4	○	○	農業協同組合			銀行	信用金庫	農林中金			
支店コード (数字3桁)				支店名										
1	2	3	● ● ●											
預金種別 (該当のものにレ印を付けてください)						口座番号 (7桁に満たない場合は、右づめで記入)								
<input type="checkbox"/> 普通		<input type="checkbox"/> 当座		<input type="checkbox"/> 別段		<input type="checkbox"/> 通知		0	1	2	3	4	5	6
口座名義														
カナ	ヒリョウ タロウ													
漢字	肥料 太郎													
ゆうちょ銀行														
記号 (6桁目がある場合は※部分に記入)						番号 (右づめで記入)								
						※								
口座名義人														
カナ														
漢字														


 申請者
 名、肥料
 購入者名
 と同一で
 あること

化学肥料低減実施報告書

記入例

作付概要

作物名	作付面積 (ha)
水稲	1.8
その他	0.1
計	1.9

注：秋肥、春肥それぞれ作成

氏名(法人・組織名) 肥料 太郎

住所 ○○市○○町○○番地の1

電話番号 ×××-×××-××××

1. 実施した取組メニューに「○」、強化・拡大したメニューに「◎」を付してください。
2. 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は 令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	◎	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用	○	◎
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等を含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、 灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの 施肥量・肥料銘柄の見直し (ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		
総取組面積	1.5ha	1.7ha

取組実績整理表

記入例1

農業者名		肥料 太郎		
取組メニュー実施作物栽培管理開始日		令和4年11月30日 (ほ場準備も含む)		
取組メニュー (注1)	作物名 (取組メニュー 実施面積) 【作付面積】	施用時期	肥料名	施用量合計 kg/10a
エ	水稻 (120a) 【180a】	○月○日～○月○日	牛糞堆肥	1,500
		○月○日～○月○日	化成肥料□□	10
		○月○日～○月○日	化成肥料□□	10
		～		
		～		
		～		
ク	水稻 (30a) 【180a】	△月△日	レンゲ種子は種	
		◇月◇日	レンゲすき込み	
		△月△日～△月△日	有機入化成肥料◆◆	10
		○月○日～○月○日	化成肥料□□	10
		○月○日～○月○日	化成肥料□□	10
		～		
取組メニューを強化・拡大した内容 (注4)	堆肥の利用面積を前年度40aから120aに拡大した			

注1：化学肥料低減実施報告書の取組メニュー番号（ア～ソ）を記入すること。

注2：取組メニューに関係する肥料についてはアンダーラインを記入すること。

注3：緑肥作物の利用の場合は、緑肥作物名、播種日、すき込み日を記入すること。

注4：具体的な内容を記入すること。

注5：販売先に提出する生産履歴票（JA栽培管理表 等）の活用も可。

ただし、注1～3に留意すること。

取組実績整理表

記入例2

農業者名	肥料 太郎
------	-------

取組メニュー実施作物栽培管理開始日 令和4年11月30日 (ほ場準備も含む)

取組メニュー (注1)	作物名 (取組メニュー 実施面積) 【作付面積】	施用時期	肥料名	施用量合計 kg/10a
エコ 100	水稻 (60a) 【220a】	〇月〇日～〇月〇日	牛糞堆肥	1,500
		〇月〇日～〇月〇日	有機肥料〇〇	30
		～		
		～		
		～		

★申請段階で「化学肥料の低減に相当程度の実績がある農業者」の記入例

取組メニュー名の欄には以下の内容を記入する

○エコやまぐち農産物認証者の場合

「エコ100」「エコ50」

○有機JAS認証取得者

「有機JAS」

○環境保全型農業直接支払交付金取組者

「環境保全」

取組メニューを強化・拡大した内容 (注4)

注1：化学肥料低減実施報告書の取組メニュー番号（ア～ソ）を記入すること。

注2：取組メニューに関係する肥料についてはアンダーラインを記入すること。

注3：緑肥作物の利用の場合は、緑肥作物名、播種日、すき込み日を記入すること。

注4：具体的な内容を記入すること。

注5：販売先に提出する生産履歴票（JA栽培管理表 等）の活用も可。

ただし、注1～3に留意すること。

(番 号)
令和5年 2月 〇日

山口県地域農業戦略推進協議会
会 長 金子 光夫 様

所在地 山口県〇〇市〇〇町〇〇番地
取組実施者名 〇〇商店 (〇〇グループ)
代表者氏名 □□ □□

令和4年度肥料価格高騰対策事業取組計画書の承認申請書

令和4年度において、肥料価格高騰対策の実施にあたり、対策事業取組計画書を作成(変更)したので、肥料価格高騰対策事業実施要領(令和3年12月20日付け3農産第2156号農林水産省農産局長通知)第9の4の(1)(第9の4の(3))に基づき、別添のとおり提出する。

(注) 実施要領参考様式第1-2号(参加農業者名簿)、実施要領参考様式第2号(化学肥料低減計画書)、所要額の算出根拠となる証拠書類、協議会長が別に定める書類を添付すること。

肥料価格高騰対策事業取組計画書

記入例

秋用肥料分	春用肥料分	年間
	○	

(注) 該当するものに○を付けること

第1 取組実施者の概要

取組実施者名	○○商店 (○○グループ)		
代表者の役職・氏名	代表取締役 □□ □□		
取組実施者の住所	〒×××-×××× 山口県○○市○○町○○番地		
事業担当者の連絡先	所属・役職・氏名	営業部 課長	■■ ■■
	電話番号	×××-×××-××××	
	E-mail	marumarsyouten@ne.jp	

第2 参加農業者の概要

実施要領参考様式第1-2号のとおり。

参加農業者数 (件)
5

第3 所要額

379,000 (秋用肥料分 春用肥料分 /年間)

(注) 括弧内はいずれかを選択すること

(注) 所要額は千円未満を切り捨て申請する

第4 誓約・同意事項

取組実施者(参加農業者を含む)は、支援金申請に当たって、次の事項を誓約・同意するものとする。

以下の内容について誓約・同意する	チェック欄	○
1 本事業に係る報告や立入調査について、地方農政局長等から求められた場合に応じます。		
2 取組を実施したことが確認できる書類等の証拠書類について、支援金の交付を受けた年度の翌年度から5年間保管し、事業実施主体又は地方農政局長等から求められた場合は提出します。		
3 以下の場合には、支援金を返還すること、又は交付されないことに異存ありません。 ア 対策事業取組計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合 イ 正当な理由がなく、対策事業取組計画書に記載した取組を実施していないことが判明した場合		

(注) 誓約・同意事項の内容を確認の上、チェック欄に○を記載すること。

記入例

肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿

No.	参加農業者 氏名 又は 法人・組織名	支援予定額（円）				総合計 ※千円未満切り捨て
		秋用肥料（令和4年6月～令和4年10月購入分）		春用肥料（令和4年11月～令和5年5月購入分）		
		当年の肥料費	支援予定額 ※千円未満切り捨て	当年の肥料費	支援予定額 ※千円未満切り捨て	
1	肥料太郎			154,300	22,000	22,000
2	農事組合法人A			1,200,000	173,000	173,000
3	(株) B 法人			1,226,530	177,000	177,000
4	山口三郎			38,560	5,000	5,000
5	山口次郎			14,520	2,000	2,000
集計	—		0		379,000	379,000

(注)

- 「肥料価格高騰対策事業取組計画書」の添付資料として使用する場合は、当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）または支払い義務が生じていることを示す書類（請求書等）を提出すること。
 なお、「肥料の品質の確保等に関する法律」に基づく肥料であり、その種類、数量、購入費が記載されているものに限る。
- 支援予定額の算出方法は下記のとおりとする。

$$\text{支援予定額} = \{ (\text{当年の肥料費}) - (\text{当年の肥料費}) \div (\text{高騰率}) \div 0.9 \} \times 0.7$$
 ただし、当年における肥料コスト上昇に対して、都道府県及び市町村から支援金（以下「地方自治体支援金」という。）が交付されている場合にあっては、この交付額から以下の算定式により算出される調整額を控除したものを支援予定額とする。
 なお、調整額が負の数の場合は、調整額は0とする。また支援金が交付されている旨、備考欄に記載する。

$$(\text{調整額}) = (\text{地方自治体支援金}) - \{ (\text{当年の肥料費} - \text{前年の肥料費}) \times 0.3 \}$$
- 「肥料価格高騰対策事業取組実績報告書」の添付資料として使用する場合は、「支援予定額」を「支援額」とする。
- 適宜、行を追加すること。
- 表中に十分に記載できない場合には、別紙で提出すること。

国 肥料価格高騰対策事業 支援予定金額 算定整理 (春肥用)

記入例

取組実施者名 ○○商店 (○○グループ)

※支援予定金額は千円未満切り捨て

整理 番号	参加農業者名	春肥			価格上 昇率 (国算 定)	使用量 低減率	算定基礎金 補填率	支援予定額 (円) ②	支援金算定に用いた領収書等の発行元
		添付された 肥料購入金 額	対象肥料購 入金額	注					
1	肥料太郎	164,230	154,300	0.9	0.9	31,840	22,000	○○商店 △△肥料販売店	
2	農事組合法人A	1,200,000	1,200,000	0.9	0.9	247,619	173,000	○○商店	
3	(株) B法人	1,226,530	1,226,530	0.9	0.9	253,093	177,000	○○商店	
4	山口三郎	38,560	38,560	0.9	0.9	7,957	5,000	○○商店	
5	山口次郎	14,520	14,520	0.9	0.9	2,996	2,000	○○商店	
6		0	0	0.9	0.9	0	0		
7		0	0	0.9	0.9	0	0		
8		0	0	0.9	0.9	0	0		
11		0	0	0.9	0.9	0	0		
12		0	0	0.9	0.9	0	0		
13		0	0	0.9	0.9	0	0		
14		0	0	0.9	0.9	0	0		
15		0	0	0.9	0.9	0	0		
合計							379,000		

●添付された肥料購入金額の欄は、協議会長が別に定める様式第1-1号の購入金額計を記入
●対象肥料購入金額の欄は、協議会長が別に定める様式第1-1号の肥料区分(秋、春)で整理した対象肥料の購入金額の計を記入

(業務方法書 様式第6号)

記入例

(番号)

令和5年12月 日

山口県地域農業戦略推進協議会
会長 金子 光夫 様

所在地 山口県〇〇市〇〇町〇〇番地
取組実施者名 〇〇商店 (〇〇グループ)
代表者氏名 □□ □□

令和4年度肥料価格高騰対策事業取組中間報告書

肥料価格高騰対策事業実施要領 (令和3年12月20日付け3農産第2156号農林水産省農産局長通知) 第13の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

取組の実施状況

取組メニュー	取組の実施状況
堆肥の利用	秋7ha 春1.9ha うち、強化・拡大により0.8ha 拡大
緑肥作物の利用	春3.5ha うち、強化・拡大により0.2ha 拡大
低分量肥料(単肥配合を含む)の利用	春11.2ha

(注)

- 1 取組メニューには、取組実施者において取り組んでいるメニューを記入し、適宜、行を追加すること。
- 2 参加農業者が、中間期間までにどのような取組を行ったのか、また、取組前と比べてどの程度取組が進んでいるか、使用記録等を参照し記入してください。

肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告書 記入例

第1 取組実施者名

〇〇商店（〇〇グループ）

第2 事業の取組概要

参加農業者数（件）	取組面積（ha）	
7	秋肥51	春肥 16.6

第3 取組実績

取組メニュー	取組の実績
ア 土壌診断による施肥設計	
イ 生育診断による施肥設計	
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入	秋3.5ha
エ 堆肥の利用	秋10ha 春1.9ha うち、強化・拡大により0.8ha 拡大
オ 汚泥肥料の利用（下水汚泥等）	
カ 食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外）	
キ 有機質肥料（指定混合肥料等を含む。）の利用	秋4.5ha うち、強化・拡大により1.2ha 拡大
ク 緑肥作物の利用	春3.5ha うち、強化・拡大により0.2ha 拡大
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用	
コ 低成分肥料（単肥配合を含む。）の利用	春11.2ha
サ 可変施肥機の利用（ドローンの活用等を含む。）	
シ 局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用	秋33ha

ス 育苗箱（ポット苗）施肥の利用	
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。）	
ソ 地域特認技術の利用 ()	

(注) 参加農業者が、実施期間を通じてどのような取組を行ったか、また、その結果として、取組前と比べてどの程度の化学肥料の低減が図られたかを、使用記録等を参照し、できる限り定量的に記入してください。

第4 化学肥料の使用量の低減に向けて継続的に取り組むための取組計画

※例 参加農業者のとりまとめ結果の概要などを記入する。

参加農業者が取り組んだ取組メニューについては各自で継続・拡大を行うこととしている。

※取組実施者としての計画の概要などを記入する。

特に、堆肥の利用については、〇〇品目において牛糞堆肥の取組実施面積が〇〇ha と多く、参加農業者の協力を得ながら取組結果を幅広く周知するなどし、その取組拡大に向けて推進を図ることとしている。

記入例

No.	参加農業者		取組面積 (ha)	計画時の取組メニユーの実施の有無
	氏名 又は 法人・組織名			
1	肥料太郎		秋肥 3ha 春肥 1.5ha	有
2	農事組合法人A		秋肥 11ha 春肥 12ha	有
3	(株)B法人		秋肥 15ha 春肥 2.7ha	有
4	山口三郎		春肥 0.2ha	有
5	山口次郎		春肥 0.2ha	有
6	中国花子		秋肥 7ha	有
7	農事組合法人C		秋肥 15ha	有
集計	-		秋肥 51ha 春肥16.6ha	-

(注)

- 1 適宜、行を追加すること。
- 2 表中に十分に記載できない場合には、別紙で提出すること。